第４回東京大会・令和元年特集
連盟会報
発行日：２０１９（令和元年）０８月１１日

…◆第５９号◆…（Ｐ－１）
発　行　：　一般財団法人　日本抜刀道連盟
♦企画・構成・編集♦　連盟本部《広報部》
…事　務　局…　〒 130-0026
東京都墨田区両国　2-21-5　両国ダイカンプラザ802号
☎:03-3631-5851　FAX:03-3631-5852

■　梅雨期後半、小雨降る七月十四日（日曜）の東京…。十月五日開催を前に控え記念すべき本連盟「ｂｅｙｏｎｄ　２０２０」認定、第２８回抜刀道全国大会の準備としての『第四回抜刀道東京大会』が東京武道館に於いてこの梅雨を吹き飛ばして盛会に開催された…。

■　開会式では冒頭に『選手各位のこの一年の修錬成果の発揮と奮闘を期待し記念すべきｂｅｙｏｎｄ２０２０認証、第四回抜刀道東京大会の開会を宣言する』と…、中島　正夫　大会実行委員長から肉声での力強い気合の入った開会宣言が高らかになされた…。

続いて国旗に拝礼。
国家斉唱の後…

■　大江　正男　大会会長より、梅雨期で天候不順な処、大会への参加に感謝している！…
しかし選手各位は、この様な時こそ気を引き締めて事故のない安全第一の大会にして、有終の美を飾ってほしい…。
また、会場の設営・撤去の委員の方、早朝からご苦労様です。互いに協力しあい、大会を成功させようとの力強い挨拶があった…。

♦開会激励挨拶をする♦
大江　正男　大会会長

■　続いて、大塚　光男　審判長から競技審判上の注意があり選手宣誓は、士成会支部山下秀造　選手が高らかに行った。
次に、岡本　光正　教士七段）の『露払い』が厳粛に行われ、引き続き『組太刀』を、（打太刀）菅野　茂（教士八段）。（仕太刀）を藤田　久男（教士七段）が演武し競技へと進んだ…。

■　今回の東京大会の大きな「特長」は…、梅雨のなか早朝から準備総責任者　小林克巳（五段）の指揮のもと準備委員各位が、汗をびっしょりとかきながら仮標の運び込みと後始末…。
そして、会場の設営撤去を手際よく行い、お見事なチームワークで《修錬と連帯》を発揮した…。

■　お陰様で競技は、無事故で予定より早く閉会式を迎えたが、大会進行の司会は、競技開催の裏で奮闘し成功へと導いた、猪膝武士（五段）が務めた…。

■大会次第■
司会：猪膝　武士

…開会式…

1．開会　宣言　中島　正夫
2．国旗　拝礼　国家　斉唱
3．大会会長挨拶　大江　正男
4．審判長　注意　大塚　光男
5．選手　宣誓　山下　秀造
6．露　払　い　岡本　光正
7．組太刀（打太刀）菅野　茂
　　（仕太刀）藤田　久男

…閉会式…

1．成績　発表　藤田　久男
2．表　彰　大江　正男
3．審判長　講評　大塚　光男
4．閉会の言葉　大江　正男

《露　払　い》
岡本　光正（教士七段）

■　会報58号は、連盟会員一人一人の“足跡と思い出”を残す『127頁から130頁』の“孤軍奮闘制作”の4頁構成です…。
広報活動は、連盟組織の《要》であり、連盟本部は“全支部…連盟会員分”を届けるので、支部長各位は《会員配布の徹底》を願います。　…♦広報　部長♦…

←開会式

〔制定 組太刀〕⇨
◆打太刀（左）菅野 茂（教士八段）
◆仕太刀（右）藤田 久男（教士七段）

表彰式

◆実技（個人戦） ６・７段の部（左から）◆
（優勝）柴田輝久／（順優勝）藤田久男・岡本光正／（３位）平川政博 ⇩

第４回 抜刀道東京大会《成績表》

個人戦・形、実技の部

段別試合種目		優勝	準優勝	三位	
〈形〉・個人戦	初段以下	竹田 祐希	加藤 康友	鵜澤 佳史	柏俣 和夫
		大阪支部	武徳塾	東京英信会支部	埼玉支部
	二・三段	酒井 康充	佐々木 伸	小倉 雅志	植村 宏司
		土成会支部	福島郡山支部	土成会支部	川崎支部
	四・五段	猪膝 武士	伊藤 勉	塩原 斉	浦井 一彦
		武相会支部	尚武館支部	川崎支部	笠間洗心館支部
	六・七段	柴田 輝久	藤田 久男	岡本 光正	佐藤 敬子
		東京道場	剣誠会支部	東京英信会支部	川崎支部
〈実技〉・個人戦	初段以下	室井 佑太	竹田 祐希	鵜澤 佳史	加藤 康友
		春風館支部	大阪支部	東京英信会支部	武徳塾
	二・三段	大塚 晋二	杉田 秀幸	小倉 雅志	水村 光治
		東京英信会支部	埼玉武蔵会支部	土成会支部	埼玉支部
	四・五段	長野 宏治	浦井 一彦	猪膝 武士	佐藤 亜里香
		土成会支部	笠間洗心館支部	武相会支部	東京道場
	六・七段	柴田 輝久	藤田 久男	岡本 光正	平川 政博
		東京道場	剣誠会支部	東京英信会支部	埼玉武蔵会支部

団体戦の部

		優勝	準優勝	三位	
団体戦	先鋒	功刀 一好	小倉 雅志	新関 勇樹	成田 英右
	中堅	植村 宏司	長野 宏治	黒田 了光	鵜澤 佳史
	大将	田村 悟	山下 秀造	軽部 慎也	藤田 僚
	支部名	川崎支部A	土成会支部	山形支部	東京英信会支部
優秀賞			堀内 城夫	関原 勝	平川 政博
形の部			土成会支部	埼玉支部	埼玉武蔵会支部
優秀賞			野村 寛一	佐藤 淳一	佐藤 敬子
実技の部			秩父支部	山形支部	川崎支部
大会会長賞			藤田 久男		
			剣誠会支部		

…◆選手各位の修錬成果の発揮と奮闘を願い
大会と言う大輪の菊を咲かせる為
大会成功を陰から支える大会役員◆…

…菊づくり
菊みるときは 陰の人…

- ◆ 準備総責任者：小林克巳（尚武館）
- ◆ 記　　録：藤田　僚（東京英信会）
- ◆ 受　　付：佐藤敬子（川崎　支部）
- ◆ 会　　計：岡本光正（東京英信会）
  高橋道夫（川崎　支部）
- ◆ 報　　道；小林克巳（尚　武　館）
  藤田　僚（東京英信会）
- ◆ 救　　護：杉田秀幸（埼玉武蔵会）
- ◆ 安全管理：浦井一彦（笠間心洗館）
  軽部慎也（山形　支部）
  田村　悟（川崎　支部）
  藤原弘通（八千代支部）
  藤田　僚（東京英心会）
- ◆ 刀剣検査：佐藤淳一（山形　支部）
  平川政博（埼玉武蔵会）
  □　　□
- ◆ 審判主任：遠藤　仁・藤田　久男
- ◆ ５段以下審判：
  岡本 光正・野村 寛一
  橘薗　一・佐藤 淳一
  堀内 城夫・佐藤 敬子
  平川 政博・高橋 道夫
  関原　勝・柴田 輝久
- ◆ ６・７段審判：
  大塚 光男・遠藤　仁
  菅野　茂

■ 店頭に並べてあるたあの果物を“食べてみたい”と、食欲を誘発するような“独特の発想”で、会報は“読んで戴く”連盟会員の立場に立って
A4一枚の中に“縦・横文字・写真” を組み合わせ 一枚の“癒しの絵画”を見ている様な《入魂一刀》“絵心の気持ち”で構成・編集しております…。 ◆広報 部長◆

令和元年　連盟本部事業計画に基づく
◆ 前期　各種講習会　＆　昇段・称号審査会 ◆

■ 中堅段位・高段位受審者講習 ■

令和元年5月26日。高段位受審者を対象に連盟本部が主催する講習会が神奈川武道館で開催された…。

指導の第一線にたつ大塚教務部長からは制定刀法所作の実技を通じた留意点と修錬心得が伝授された…。

中島副会長からは武道修錬の極意である「心技一如」の《心》の部分に触れ、高段位審査を受審する前に自己をみつめた…、高段者としての〈自覚と認識〉の重要性が強調された。

そして過去に提出された設問論文の評価が具体的に示され、物の見方・考え方のみに固執せず実生活の中で行動に移す事の大切さ、高段者としての自覚をもった、修錬を通じた後継者育成の大切さが強調された…。

⇧ ◆各支部間の指導統一を図る為、制定刀法所作の実技を通じ修錬要点を力説する 大塚教務部長。
◆高段位受審者としての心得を強調する 中島副会長。⇩

◆高段位参加者◆ 〔高知支部〕境 泰雅・今村 文彦/〔福岡支部〕橘薗　一/〔東京英信会〕岡本 光正・藤田 僚
〔武相会〕猪膝 武士・城谷 光俊/〔尚武館〕小林 克巳/〔笠間洗心館〕浦井 一彦/〔剣誠会〕藤田 久男
〔東京道場〕柴田 輝久/〔士成会〕堀内 城夫・庄司 一憲/〔英信会〕山口 博/〔川崎支部〕佐藤 敬子

■ 連盟本部主催「制定刀法・審判講習会」開 催 ■

令和元年6月2日（日）。連盟本部事業計画に基づく「制定刀法伝達講習および審判講習会」が開催された。この講習会には、遠路大阪から参画した連盟会長から直接の指導・助言を戴き、特に抜刀道を修錬する高段者としての《心得》等の徹底を図る、貴重な講習会となった…。

また、会長挨拶の中では高段者としての審判認定者の講習参加者が少なく誠に残念…。高段者は審判をすると言う立場を《再認識》し、積極的に本部講習会への参加要請がなされた…。

そして、真剣の日本刀を使用する抜刀道は日頃の稽古・修錬に於いて〈絶対安全の確保〉が抜刀道存続の生命線。指導する者、指導される者は教本通りに行い勝手な解釈をしてはならないと貴重な教訓を戴いた…。

◆【制定刀法 伝達講習】◆

大塚教務部長が教本を読み上げながら藤田教務次長が演武を行い刀法所作の《要義・理合・動き》による実技の研修を行った…。

◆【審 判 講 習】◆

受講者は、審判と選手に別れて実施。講師審判判定の解説が行われ《勝敗・合議・不戦勝・判定旗の上げ下げ》等々の実体験研修が行われた…。

【参 加 者】《◆印：審判現役》
〔山形支部〕◆佐藤 淳一　/〔埼玉支部〕◆関原　勝 /〔埼玉武蔵会〕◆平川 政博
〔東京英信会〕◆岡本 光正・成田英右 /〔川崎支部〕◆佐藤 敬子・◆高橋 道夫 /〔大阪支部〕長畑 卓
〔東京道場〕◆柴田 輝久・増田 幸弘 /〔八千代支部〕藤原 弘道 /〔士成会〕小倉 雅志

◆広報便り◆ 【 誰もが気づかぬ発想 ！ 】 ただ単に活字を“見るのではなく”… 50cmほど離して会報の1枚を眺めてほしい…！。 写真を挟んで活字を縦横に巧みに組み合わせ、絵画を眺める様な『絵心の発想』で一枚の作品として“構成・編集”がなされています。 抜刀道を通じたご自分の人生記録をセロケース入れて机の片隅に飾るも良し。 名刺がわりに“COPY”して記念に配布するも良し。 この様な“男のロマン”を勝手に抱き“連盟発展”の為、日々真夜中まで会報作りは続きます…。

連盟会報

発 行：一般財団法人 日本抜刀道連盟
企画・構成・編集：《広 報 部》

◆お人柄紹介◆

藤田 久男（65歳）
連盟本部 教務次長

♦ 所属支部 ♦　剣 誠 会

【 支部名に込めた想い】
誠とは〈真心〉。剣の道を通じ思いやりの心を持つ…。

【 修錬を通じた具体的な行動 】
着装の点検と挨拶の徹底。
稽古・演武中の絶対安全確保の徹底指導。

♦ 武 道 歴 ♦
抜刀道 教士８段。柔道・剣道・空手 各２段。

♦ 座右の銘 ♦　《破邪顕正》…人と煙草の善し悪しは煙りとなりて　後に知るなり…

♦ 趣　　味 ♦ 刀剣研磨。刀装具の自作。

□　　□

■ 選手を心から迎える為、その陰で出場選手が日頃の修錬成果を十分に発揮出来るよう…
「仮標作り・手配・会場設営・撤去」等々を行い準備総責任者として、今日までの連盟組織活動への貢献はお見事…。
各種講習会では、教務部長を補佐し講師を努め参加者の抜刀道修錬、錬度の向上の指導に努め実績を上げている…。
【連盟本部 広報部】

…■ 厳しい高段者審査 ■…

外気温３８度と言う猛暑の令和元年八月三日（土曜）神奈川県立武道館に於いて、真夏の熱気を吹き飛ばし本連盟六段以上の高段者審査と称号審査が行われた…。

◆高段者審査◆ 六段（二名）・七段（二名）・八段（三名）
《合格者》 七段：堀内 城夫［士 成 会］
八段：藤田 久男［剣 誠 会］

◆称号 審査◆ 錬 士（一名）・ 範 士（一名）
《合格者》 古 田 忍［讃岐 支部］

■ 審査長 大江 正男（範士九段）・中島 正夫（範士九段）
金子 翼（範士八段）・大塚 光男（範士八段）・遠藤 仁（範士八段）

連盟本部 高段位審査委員

⇦ 連盟の組織活動を担う高段位 受審査の先生方

♦編集後記♦

■ 思い起こすと平成最後の連盟総会で、我が大江連盟会長は新元号を迎えるにあたり、各県各支部の「高段位指導者」の『連盟指導理念と刀法所作』の教え方が、各支部によってまちまちであってはならない…。
特に高段位の《指導者》は、連盟本部が主催する『制定刀法・審判講習・高段位受審者講習』等々の講習会には積極的に参加し、高段位指導者としての錬度を高めてほしいとの貴重な教訓を戴いた。

■ この貴重な教訓を受け、本部教務部を中心に各種講習会の充実を図りつつ開催してるが遠路からとは言え参加者が少なく、高段位指導者としての《自覚と認識》を持って積極的な参加を要請する次第です…。

“菊づくり 菊見るときは 陰の人”
互いの感謝の気持ちから『 修練と連帯』が生まれる…

■ 連盟事業計画『全国大会・制定刀法＆審判講習・高段位審査会・高段位受審者講習』と言う〈菊の大輪〉を咲かせ成功に導く為に、その陰（裏方）には…この猛暑の中「大会出場選手・講習会参加者」を心暖かく迎え日頃の修錬成果を充分に発揮してほしいと願い、大会各役員が黙々と活躍する我々の仲間の姿がある…。

まず、全国大会・各種講習・審査会場の確保。これから迎える「ｂｅｙｏｎｄ ２０２０認証」第２８回の全国大会会場確保では神奈川武道館の場合、事務局長が昨年の１２月末に次年度（４月～翌年３月/２０２０年）の、武道館使用計画を申請し、他の団体との行事の重なりを鋭意、武道館側が調整し決定される。
この〔結果〕を引き出す陰には地道な日頃の交渉と、人間関係が隠されている…。

副会長兼広報部長
中島 正夫

また上記の行事実行の陰には、準備委員の活躍が目覚ましい…。早朝から会場への仮標の運び込み。会場設営。選手・受審者が使用する仮標のセットと撤去。行事終了後の会場撤去と清掃等々、選手各位が帰路に入り会場を離れても〈準備委員の労〉は続く…。帰り際には『ご苦労さん！…お疲れさん！』と一声かけて《修錬と絆 ♦ 絆と連帯》のチームワークを構築して行こうではないか…。